

| | | | |
|------------------|---|-----------------|---------------------|
| 講義コード | | 科目区分 | 専門教育科目(スポーツ健康福祉専攻) |
| (フリガナ) | スポーツボランティアロン | (フリガナ) | クニキ タカハル / フクダ カズヨシ |
| 授業科目名 | スポーツボランティア論 | 担当教員名 | 國木 孝治 / 福田 一儀 |
| 英文授業科目名 | Sports-Volunteer Outline | | |
| 基準年次(開講期) | 1年生(前期) | 履修形態 | 選択 |
| 曜日/時限/講義室 | 木曜日/3時限/322教室 | | |
| 授業の方法 | 講義 | 授業の方法 (詳細情報) | 講義中心、演習中心 |
| 単位 | 2 | 週時間 | 1 |
| 授業のキーワード | スポーツボランティア、スポーツボランティア・リーダー、コミュニケーションスキル | | |
| 授業概要・目的 | 本授業では、ボランティアの真の姿とはどのようなものか、またなぜボランティアは必要とされるのかといった“ボランティア”そのものについて理解を深めることを第1の目的としている。第2に、スポーツボランティアについての基礎的知識を身につけること。第3に、多くの実践活動の事例を学ぶことにより、社会的に求められる広い視野、物事の分析力、調整力、組織力の重要性などに気付くことができるようになること。第4に、大学内外におけるスポーツボランティア活動を積極的に行う機会を得ることができるようになることである。 授業は理論と演習形式で実施する。 | | |
| 到達度評価の 評価項目 | ・スポーツボランティア活動の価値、意義、役割、実際の活動等について理解を深めることができる | | |
| 授業計画 | | | |
| 第1回 | 授業ガイダンス 授業の目標、内容、進め方。受講者の関心度調査 | | |
| 第2回 | ボランティア論① ボランティア概論： 語源、歴史、定義、原理・原則、概念・性質、公益性・公共性 | | |
| 第3回 | ボランティア論② ボランティア概論： ボランティア活動とは、NPOとボランティアの関係、NPOとNGO | | |
| 第4回 | ボランティア論③ ボランティア活動の事例紹介(1)： 災害支援・国際平和分野でのボランティア活動 | | |
| 第5回 | ボランティア論④ ボランティア活動の事例紹介(2)： 福祉・環境分野でのボランティア活動 | | |
| 第6回 | ボランティア論⑤ ボランティア活動の事例紹介(3)： スポーツ・レクリエーション分野でのボランティア活動 | | |
| 第7回 | スポーツボランティア論① スポーツボランティアの定義・分類、活動状況、楽しみ方(みる・する・ささえる) | | |
| 第8回 | スポーツボランティア論② スポーツ関連法規、スポーツ基本計画とスポーツボランティア | | |
| 第9回 | スポーツボランティア論③ スポーツボランティアのリーダーシップ・フォロワーシップ | | |
| 第10回 | スポーツボランティア演習① コミュニケーションスキル： リーダーとアイスブレイク | | |
| 第11回 | スポーツボランティア演習② コミュニケーションスキル： リスクマネジメント | | |
| 第12回 | スポーツボランティア演習④ グループワーク(1)： 想いをカタチにー課題の絞り込み | | |
| 第13回 | スポーツボランティア演習⑤ グループワーク(2)： 想いをカタチにー課題解決のゴールを導き出す | | |
| 第14回 | スポーツボランティア演習⑥ グループワーク(3)： 発表 | | |
| 第15回 | 総括 まとめ | | |
| 教科書・参考書等 | 適宜資料を用意する。 | | |
| 授業で使用する 機器等 | 音声教材、映像(ビデオ/PC/その他画像資料) | | |
| 予習・復習への アドバイス | 各回とも講義内容を確認し、参考文献・資料を読む。 | | |
| 履修上の注意・ 受講条件等 | 1年生から4年生まで、専攻問わず誰でも履修できます。なお、4年次には「スポーツボランティア演習」を履修することで、萩市内外のスポーツボランティア活動へ参加できます。 | | |
| 成績評価の基準等 | 以下の3つの観点から評価する 1) 授業に取り組む姿勢(30/100) 2) 課題レポート(50/100) 3) 研究発表能力(20/100) | | |
| メッセージ | 遅刻厳禁。授業中の飲食禁止。携帯電話の電源は切り、机の上に置かずにしておくこと(各種障がいのために携帯電話が必要な場合は申し出ること)。 | | |
| オフィス・アワー | 各期オフィス・アワー時に國木孝治研究室(7号館:726)にて対応する。 | | |
| その他 | 日本体育協会認定『ジュニアスポーツ指導員』、日本スポーツボランティアネットワーク『スポーツボランティア・リーダー』、日本ライフセービング協会『ライフセービング・サポーター』への道が開けます。 | | |